

# わらアートプロジェクト(学生団体WARABI)

## 概要

新潟市西蒲区で開催されている「わらアートまつり」は、「稲わら」を活用した様々なアート作品を制作・展示し、同地の魅力を市内外へPRを通して、交流人口の拡大と区民の一体感の醸成を図るイベントです。

本プロジェクトは2006年、稲わらを使った催しができないかと相談を受けたことがきっかけで始まりました。当時基礎デザイン学科教授であった宮島慎吾氏（現わらアートJAPAN 理事長）の指揮のもと手探りで制作を始め、2008年から正式に「わらアートまつり」として作品の展示を行うようになりました。現在では毎年上堰瀧公園にて最大3.5mにもなる巨大なオブジェを制作しています。

主に5月～7月の間に、実際に制作するデザインを検討。それをもとにした三面図、ポスターやチラシの制作などの事前準備をします。そして8月下旬に新潟に行き、10日間ほど泊まり込みで制作を行います。

総来場者数は3万人を超え、地元の方々だけに限らず、たくさんの人に愛されるイベントとなっています。

## 基本情報

担当教員学科 —	連携先など関係者の人数 新潟市西蒲区役所産業観光課 6名 ウチヤマ看板 2名 わらアート JAPAN 2名
担当教員氏名 —	
プロジェクト実施期間 2006年～	参加学生の学年 学年の制限なし
事前準備 毎年5月～7月 現地制作 毎年8月末（わらアートまつり自体は、わらアート完成後～10月いっぱいまで）	主な連携先 新潟県新潟市 NPO 法人 わらアート JAPAN
プロジェクトの実施拠点 武蔵野美術大学 鷹の台キャンパス 上堰瀧公園（新潟市西蒲区松野尾1）	
参加学生の学科 学科の制限なし	
参加学生の人数 2024年度 17名（他大学から+4名） 2025年度 13名（他大学から+8名）	

プロジェクト全体の関係図

